

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2019年8月13日
【四半期会計期間】	第74期第1四半期（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
【会社名】	萬世電機株式会社
【英訳名】	MANSEI CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 占部 正浩
【本店の所在の場所】	大阪市福島区福島7丁目15番5号
【電話番号】	06(6454)8211（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 平井 徹
【最寄りの連絡場所】	大阪市福島区福島7丁目15番5号
【電話番号】	06(6454)8211（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 平井 徹
【縦覧に供する場所】	萬世電機株式会社神戸支店 （神戸市兵庫区高松町2番3号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第73期 第1四半期連結 累計期間	第74期 第1四半期連結 累計期間	第73期
会計期間	自2018年4月1日 至2018年6月30日	自2019年4月1日 至2019年6月30日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高 (千円)	5,268,361	5,175,113	23,626,561
経常利益 (千円)	127,734	156,047	803,011
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	85,279	101,668	532,542
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	50,294	95,882	413,968
純資産額 (千円)	10,586,453	10,917,793	10,890,552
総資産額 (千円)	19,658,088	18,971,508	19,936,489
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	37.27	44.43	232.75
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	53.9	57.5	54.6

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 当社は、2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は189億71百万円（前連結会計年度末比9億64百万円減）となりました。

流動資産は159億66百万円（同比9億74百万円減）となりました。これは主に現金及び預金の減少2億36百万円、受取手形及び売掛金の減少8億63百万円、商品の増加2億1百万円などによるものです。

固定資産は30億5百万円（同比9百万円増）となりました。これは主に無形固定資産の増加39百万円、有形固定資産の減少20百万円などによるものです。

(負債)

負債合計は80億53百万円（同比9億92百万円減）となりました。

流動負債は73億58百万円（同比10億4百万円減）となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少6億22百万円、未払法人税等の減少1億88百万円、賞与引当金の減少81百万円などによるものです。

固定負債は6億95百万円（同比11百万円増）となりました。これは主に繰延税金負債の増加44百万円、役員退職慰労引当金の減少40百万円などによるものです。

(純資産)

純資産合計は109億17百万円（同比27百万円増）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上1億1百万円、配当金の支払額68百万円により利益剰余金の増加33百万円、その他有価証券評価差額金の減少6百万円などによるものです。

(2) 経営成績

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとした海外経済の減速やIT需要の落ち込みを背景とした輸出の低迷が続くなか、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループの関連する業界につきましては、設備関連では食品、物流等における設備投資が堅調に推移しておりますが、半導体関連では産業機器を中心に需要の落ち込みが続きました。

このような状況の中、当社グループは、顧客起点の徹底による営業力強化と生産性向上を目的とする営業働き方改革の取り組みをスタートさせ、市場の変化やお客様の多様なニーズをしっかりと捉え、事業規模の拡大に取り組んでまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は51億75百万円（前年同期比1.8%減）となり、低採算の大口案件が減少したことなどにより粗利益率が改善し、営業利益は1億48百万円（同比22.3%増）、経常利益は1億56百万円（同比22.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億1百万円（同比19.2%増）となりました。

各セグメントの状況は、次のとおりであります。

（電気機器・産業用システム）

電気機器につきましては、配電制御機器は増加しましたが、機械装置向け需要の鈍化や一部顧客の在庫調整の影響を受け減少しました。産業用システムにつきましては、電気設備の大口案件の変動により減少しました。

この結果、部門全体では売上高24億89百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

（電子デバイス・情報通信機器）

電子デバイスにつきましては、民生系需要が若干増加しましたが、産業系需要は低迷し減少しました。情報通信機器につきましては、PC・サーバー等のIT投資が堅調に推移し増加しました。

この結果、部門全体では売上高15億26百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

（設備機器）

設備機器につきましては、各種工場、ビル、物流倉庫向けに冷熱機器及び関連工事が増加しました。

この結果、部門全体では売上高11億21百万円（前年同期比21.1%増）となりました。

（太陽光発電）

太陽光発電につきましては、概ね想定どおりに発電し、売上高37百万円（前年同期比8.7%増）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

特記すべき事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在 発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,300,000	2,300,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	2,300,000	2,300,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総数 残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額(千円)	資本準備金 残高(千円)
2019年4月1日~ 2019年6月30日	-	2,300,000	-	1,005,000	-	838,560

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 11,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,285,900	22,859	-
単元未満株式	普通株式 2,200	-	-
発行済株式総数	2,300,000	-	-
総株主の議決権	-	22,859	-

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
萬世電機株式会社	大阪市福島区福島7丁目15番5号	11,900	-	11,900	0.52
計	-	11,900	-	11,900	0.52

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,927,074	6,690,089
受取手形及び売掛金	6,889,050	6,025,381
電子記録債権	2,139,426	2,100,606
商品	733,962	935,617
未収入金	200,306	162,389
その他	55,105	56,224
貸倒引当金	4,510	4,057
流動資産合計	16,940,414	15,966,251
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,495,110	1,478,073
機械及び装置(純額)	512,307	501,432
土地	113,613	113,613
その他(純額)	18,613	26,505
有形固定資産合計	2,139,644	2,119,625
無形固定資産	22,197	61,358
投資その他の資産		
投資有価証券	728,343	719,500
その他	121,729	120,613
貸倒引当金	15,840	15,840
投資その他の資産合計	834,232	824,273
固定資産合計	2,996,074	3,005,257
資産合計	19,936,489	18,971,508

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,173,179	6,550,726
短期借入金	358,080	350,000
未払法人税等	201,111	12,555
賞与引当金	156,048	74,369
役員賞与引当金	33,496	6,300
その他	440,535	364,370
流動負債合計	8,362,451	7,358,322
固定負債		
繰延税金負債	402,793	447,559
役員退職慰労引当金	123,300	83,100
退職給付に係る負債	18,636	13,980
資産除去債務	66,986	67,187
その他	71,768	83,565
固定負債合計	683,485	695,393
負債合計	9,045,937	8,053,715
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005,000	1,005,000
資本剰余金	838,560	838,560
利益剰余金	8,834,413	8,867,441
自己株式	15,427	15,427
株主資本合計	10,662,546	10,695,573
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	227,569	220,841
為替換算調整勘定	1,152	1,276
退職給付に係る調整累計額	1,588	2,655
その他の包括利益累計額合計	228,005	222,220
純資産合計	10,890,552	10,917,793
負債純資産合計	19,936,489	18,971,508

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	5,268,361	5,175,113
売上原価	4,585,382	4,473,838
売上総利益	682,979	701,274
販売費及び一般管理費	561,867	553,170
営業利益	121,112	148,104
営業外収益		
受取利息	181	165
受取配当金	10,571	11,520
その他	2,091	2,037
営業外収益合計	12,843	13,724
営業外費用		
支払利息	519	566
売上割引	3,652	3,860
為替差損	1,588	775
その他	460	579
営業外費用合計	6,221	5,781
経常利益	127,734	156,047
特別利益		
投資有価証券売却益	2,518	-
特別利益合計	2,518	-
税金等調整前四半期純利益	130,253	156,047
法人税、住民税及び事業税	19,633	7,422
法人税等調整額	25,340	46,956
法人税等合計	44,973	54,379
四半期純利益	85,279	101,668
親会社株主に帰属する四半期純利益	85,279	101,668

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	85,279	101,668
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,232	6,727
為替換算調整勘定	522	124
退職給付に係る調整額	274	1,066
その他の包括利益合計	34,984	5,785
四半期包括利益	50,294	95,882
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,294	95,882
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形等

四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形等が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形	164,403千円	184,614千円
電子記録債権	65,056	156,276
支払手形	163,456	175,800

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
減価償却費	33,012千円	36,749千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	54,913	12	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

(注)2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。「1株当たり配当額」につきましては、当該株式併合前の金額を記載しております。

当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	68,640	30	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額(注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電気機器・ 産業用シス テム	電子デバイ ス・情報通 信機器	設備機器	太陽光発電	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,788,833	1,519,048	926,205	34,274	5,268,361	-	5,268,361
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	2,788,833	1,519,048	926,205	34,274	5,268,361	-	5,268,361
セグメント利益(営業利益)	95,168	18,476	4,527	20,076	138,249	17,136	121,112

(注)セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額(注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電気機器・ 産業用シス テム	電子デバイ ス・情報通 信機器	設備機器	太陽光発電	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,489,618	1,526,501	1,121,721	37,271	5,175,113	-	5,175,113
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	2,489,618	1,526,501	1,121,721	37,271	5,175,113	-	5,175,113
セグメント利益(営業利益)	94,122	21,945	23,909	23,059	163,037	14,932	148,104

(注)セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益	37円27銭	44円43銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円)	85,279	101,668
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純利益(千円)	85,279	101,668
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,288	2,288

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 当社は、2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月2日

萬世電機株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 尾仲 伸之 印

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 岩淵 貴史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている萬世電機株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、萬世電機株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。